

ご 挨拶

鹿屋体育大学大学院体育学研究科
スポーツ国際開発学共同専攻
専攻長 山田理恵

今日、教育、体力・健康づくり、産業、イベント、観光、環境、政策、国際政治など、スポーツへの関心や効用への期待は多様であり、それに伴って、スポーツの科学的研究のアプローチも多様化してきています。そのようななか、スポーツの新たな価値を探究する学問領域として注目されるのが、本共同専攻が専門とする「スポーツ国際開発学」です。

スポーツによる開発（地域開発、国際開発）の効用や重要性は、すでに認識されてきています。その一方で、スポーツを専門とする立場からの開発への関わり方や開発・援助における課題などについても考察する必要があります。また、その基盤として、さまざまな国々・地域の身体運動文化に対する理解も深められなければなりません。今後さらに、スポーツと開発の関係、スポーツによる開発のあり方について、さまざまな角度からの研究成果が蓄積され、議論が構築されていくことが期待されます。

筑波大学と鹿屋体育大学は、日本スポーツ振興センターとの協働によって、スポーツ国際開発学共同専攻を設置しました。本専攻では、スポーツと開発に関する専門的知識と実践力、スポーツによる開発における効用や課題を科学的に分析・検証できる研究能力と課題解決能力を身につけ、国際的に活躍できる人材の育成をめざしています。また、そのような教育・研究活動を通して、スポーツ科学分野の教育と研究の充実・発展に貢献できるものと確信しています。そして、そのような本専攻に学ぶ在学生や修了生のみなさん、スタッフとともに、「スポーツ国際開発学」という、スポーツ科学の新たな可能性を追究していきたいと考えています。